浴室収納棚

●YR-312 ●YR-412G ●YR-612G ●YR-221 ●YR-316
●YR-312T ●YR-412GT ●YR-612GT ●YR-221G ●YR-316G

施工前に必ずお読みください

● 施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。

● 浴室収納棚を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。

安全のため必ずお守りください

用語および記号の説明

⚠ **注意** ・・・取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

❗ ・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意

鏡付の場合、鏡が破損しないよう取扱いには十分注意してください。
※鏡が割れてケガをする恐れがあります。

鏡付の場合は、上部鏡フックを確実に一番下まで下げ、フックの上をシリコンシーリングしてください。
※鏡が落下してケガをする恐れがあります。

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
●お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

●施工前のご注意

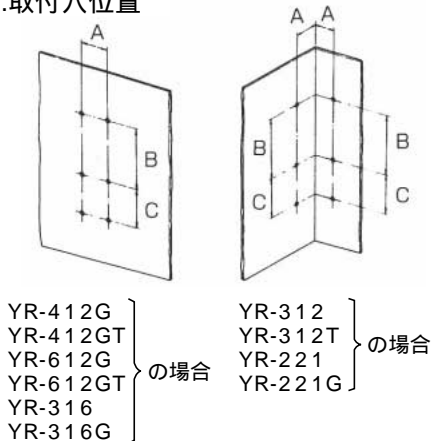
●直射日光が当たる場所へ設置しないでください。
※変色や変形の原因になります。
●同梱の付属部品は表を参照して確認してください。

部材名	数量
本体 鏡・・・・・・・・ YR-412G、YR-412GT、YR-612G、YR-612GT、YR-221G、YR-316Gのみ バスケット・・・ YR-221、YR-221G、YR-316、YR-316Gのみ	1台
取付ねじセット 皿ねじ　台座リング　化粧キャップ　プラグ（緑）　フィッシャープラグ（オレンジ）	各6ヶ
取扱説明書	1部
施工説明書	1部

●施工方法

1. 壁への取付穴位置決め

・収納棚を壁の取付位置に合わせて、収納棚の取付穴（6か所）から壁に印をつけます。
※現物合わせが難しい場合は、図1を参考にして印をつけてください。

図1.取付穴位置

品番＼寸法	A	B	C
YR-412G YR-412GT	250	400	700
YR-612G YR-612GT	500	500	500
YR-312 YR-312T	200	600	400
YR-221 YR-221G	170	600	900
YR-316 YR-316G	230	600	900

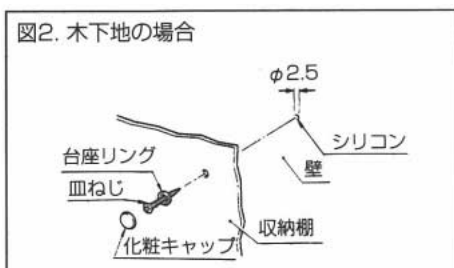
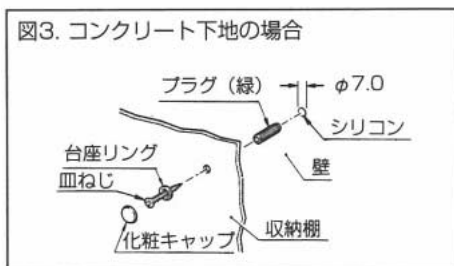
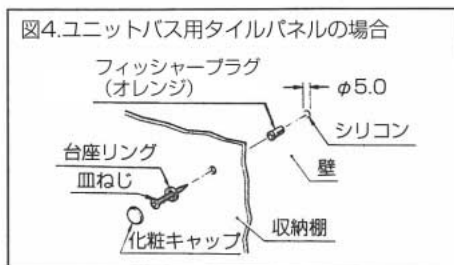
（単位：mm）

2. 壁の取付穴加工

・壁の印をした所をドリルで穴加工して、必要に応じてプラグまたはフィッシャープラグを差し込みます。

※漏水防止の為、穴及びプラグの部分には、シリコンを塗ってください。

※穴の寸法および取付方法は壁の下地により違います。

・木下地の場合（図2）・・・・・・・・・・・穴寸法　φ2.5mm　穴深さ40mm

・コンクリート下地の場合（図3）・・・・・穴寸法　φ7.0mm　穴深さ40mm
プラグ（緑）を差し込む

・ユニットバス用タイルパネルの場合（図4）・・・穴寸法　φ5.0mm　穴深さ40mm
フィッシャープラグ（オレンジ）を差し込む

3. 収納棚の取付け

（1）皿ねじに台座リングを通し、収納棚の表面側より穴に差し込み、ねじ固定（6ケ所）します。
（2）収納棚を固定したら、化粧キャップを台座リング（6ケ所）にはめ込みます。（図5）

図5. 収納棚
（図はYR-412GT）

4. 鏡の取付け

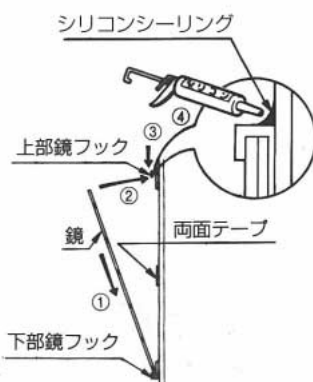
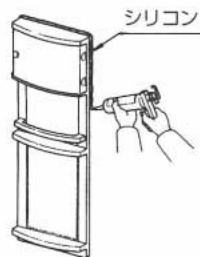
・収納棚本体の両面テープの保護紙をはがして次の順序で鏡を取り付けます。（図6）

（YR-221Gには両面テープはありません。
YR-412G、YR-412GTは、③以降を実施してください。）

①鏡を下部鏡フックに差し込む。
②鏡を垂直に立てる。
③上部鏡フックを確実に下げ鏡に差し込む。
④上部鏡フックの上をシリコンシーリングする。

図6. 鏡の取付け

●鏡が破損しないよう、取扱いには十分注意してください。
※鏡が破損してケガをする恐れがあります。

●鏡付の場合、上部鏡フックを確実に一番下まで下げ、フックの上をシリコンシーリングしてください。
※鏡が落下してケガをする恐れがあります。

5. シリコンシーリング

・収納棚およびその周辺を清掃した後、収納棚の周囲と壁との接合部をシリコンシーリングします。（図7）
※シリコンシーリングをする場合、マスキングテープ（現地調達）を使用するとキレイに仕上がります。

図7. シリコンシーリング
（図はYR-412GT）

●施工後の確認

●収納棚の取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認してください。
●収納棚にガタツキ、壁と収納棚との間にすき間がないか確認してください。
●取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書を必ずお施主さまにお渡しください。